

「第 1 回神戸市における里親委託推進のための検討会」での主なご意見

○里親支援機関・里親支援専門相談員について

- ・神戸市には多くの里親支援機関があり、それが強みにもなるが、現状では各施設の取組内容に差があるように思う。
- ・各施設に配置されている里親支援専門相談員が行う支援についても、スーパーバイズの体制が十分ではなく、ソーシャルワークの質の向上が課題。
- ・里親に対する研修を複数の機関が実施しているため、児童相談所として個々の里親の状況が把握しにくいのではないかと。

○里親の広報・リクルートについて

- ・一定の広報はしているが、その効果が見えにくい。実際に委託につながる里親のリクルートについて、プロモーションの手法などの工夫が必要ではないかと。

○こども家庭センター（児童相談所）の体制について

- ・児童相談所での勤務経験の浅い職員が増えたこともあり、里親委託にかかる実親からの同意取得や里親委託後の支援のためのスキルが十分ではないように思う。
- ・里親のマッチングや委託後の支援には高い専門性が求められるため、担当する職員の計画的な育成が必要。

○未委託里親の課題について

- ・未委託となっている里親の意向や状況をあらためて確認して、今後実際に委託ができるかどうかを再アセスメントする必要があるのではないかと。
- ・養子縁組が成立した後も里親登録を継続している未委託里親に一時保護委託等をお願いすることも考えられると思う。

○里親家庭に対する養育支援について

- ・里親同士がサポートしあえる仕組みとして、例えば各区単位での里親のネットワークづくりや、里親支援事業を一部の区でモデル実施すること等も検討してはどうか。
- ・里親による養育環境を充実させていくことが、結果として里親委託を進めることにつながっていくと思う。

○今後の取組について

- ・乳幼児の里親委託を積極的に進めていく必要がある。
- ・多くの課題があるが、優先順位をつけて戦略的に取り組むことが求められる。